

DXハイスクール 取組事例



島根県立出雲商業高等学校
(公立・商業科 情報処理科)

「地域と連携してデジタル活用・創造の興味・関心を高める」

取組

3Dプリンタやレーザーカッターで ものづくり体験

Chromeブックやパソコンの画面上で作成した成果物を実物として造り、ものづくりの楽しさを体験する。

VR等でコンテンツの創造

メタバース、バーチャルモール等に必要なコンテンツを創造することで新しい価値を体験する。

様々なIoT最新機器を使いこなす

高性能PCやVRゴーグル、スマートグラス、ドローン、ラズベリーパイ、micro:bit、アルディーノ等のIoT最新機器を利用して、未来の産業への利用価値を考える。

データサイエンスやAIを活用・創造

データサイエンスやAIの効果的な活用の方法やプログラミングを学び、活用・創造できるコンテンツの幅を広げる。

レイアウトフリーなプレゼンテーション ルーム(仮称)の整備

課題研究や探究学習($\alpha \cdot \beta$)、数理探究基礎、IT人材育成等の探究活動の成果報告を参加人数に合わせてレイアウトして、より効果的な活動ができる。

VRゴーグルやスマートグラスが安全に 体験できるDXルーム(仮称)の整備

ゴーグルやグラスを装着した生徒が、安心して移動できる空間を確保し、様々なVR、AR、MRを体験することができる。

育成する生徒像・取組による効果

自己のデジタル活用・創造に関して、興味・関心に気付き、深め、生涯学び続ける力。
様々な体験を通して、地域の理解を深め、課題や魅力を引き出す力。

成果目標等 情報Ⅱ相当の履修率:100%(令和8年度) 大学理系学部進学率:12.5%(令和10年度)